

《入選》

心つながるポッチャ

城北小学校 5年

おおとりい
大鳥井 理乃 さん

6時間目に、ようご学校から一人の男の子がきてくれました。彼は、車いすに乗っています。私は、彼もいっしょにポッチャが楽しめるかな、と少し不安でした。

そして、いよいよ楽しみにしていたポッチャを始めました。最初は、少しルールになれていなくて、失敗しちゃうたらどうしようかと不安でいっぱいでした。でも、どんなやっつけていくうちに不安は消えて、気づいたら夢中になって、みんなと作戦を考えたり、笑顔で喜んでいたりしました。そして、自分の番が

早く来ないかな、とワクワクしていました。

すると、最後に私の順番が回って来ました。最後なので私達のチームが勝つために期待がいっぱいです。なので私はがんばって投げました。でも、せっかく私達のチームが勝っていたのに逆にボールを遠ざけてしまい負けました。

その時、友達がやさしく言うてくれました。

「おしかったね！でも、2回戦もあるよ。」

「大丈夫だよ。次こそ勝とう！」

私は、とっつもうれしかったです。そして、その中には、彼の声もありました。その時に初めて気づきました。これが心につながるってことなんだなあ、こんなに心がポカポカするんだなあ。色んなうれしい気持ちがある私の心からあふれてきました。そして、

心がつながる意味を教えてください。ポッチャ、友達、彼にありがとうの気持ちを伝えました。

そして、2回戦目もおしい所で負けてしまつて悔しかったです。でも、みんなと楽しくポッチャがやりきれたから、とっつもうれしかったです。

また、6年生になつてもポッチャをやる機かあるといいなと思つています。そしてこれからはいろんな人と心をつないでいきたいです。